

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成25年8月14日

**【四半期会計期間】** 第43期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 株式会社ハマキョウレックス

**【英訳名】** HAMAKYOREX CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 大須賀 秀徳

**【本店の所在の場所】** 静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1

**【電話番号】** (053)444-0054

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役執行役員管理本部長  
山崎 裕康

**【最寄りの連絡場所】** 静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1

**【電話番号】** (053)444-0054

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役執行役員管理本部長  
山崎 裕康

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第42期 第1四半期 連結累計期間		第43期 第1四半期 連結累計期間		第42期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
営業収益 (百万円)		22,051		22,245		88,943
経常利益 (百万円)		1,665		1,369		5,956
四半期(当期)純利益 (百万円)		819		721		3,101
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)		904		830		3,670
純資産額 (百万円)		28,657		31,821		31,215
総資産額 (百万円)		84,921		87,769		86,920
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)		98.15		86.38		371.24
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		29.1		31.3		31.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。  
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当社は、平成25年5月17日開催の取締役会において、SGホールディングス株式会社の子会社である佐川グローバルロジスティクス株式会社との間で株式交換契約を締結すること及び当社とSGホールディングス株式会社との間で資本・業務提携契約を締結することを決議し、同日付にて株式交換契約および資本・業務提携契約を締結しました。

#### (1) 株式交換および資本業務提携の目的

当社とSGホールディングス株式会社は、平成25年1月31日、国内3PL事業の統合により将来の競争優位性の確立を図ることを目的に、資本・業務提携に関する基本合意書を締結しました。その後、両社は資本・業務提携に係る具体的な協議を実施した結果、両社が企業としての独立性を確保しつつ国内3PL事業に関する緊密な連携を行うことにより、両社の企業価値を最大化することを目的として、株式交換契約および資本・業務提携契約を締結しました。

#### (2) 株式交換の方法

当社を完全親会社とし、佐川グローバルロジスティクス株式会社を完全子会社とする株式交換。

#### (3) 株式交換の内容

当社は、本株式交換により佐川グローバルロジスティクス株式会社の発行済株式の全部を取得する時点の直前時の佐川グローバルロジスティクス株式会社の株主名簿に記録の株主に対し、普通株式2,090,000株を新たに発行し、交付します。

#### (4) 株式交換比率

会社名	当社 (株式交換完全親会社)	佐川グローバルロジスティクス株式会社 (株式交換完全子会社)
株式交換比率	1	2.09

#### (5) 株式交換比率の算定根拠等

当社およびSGホールディングス株式会社は、本株式交換の株式交換比率の公平性を確保するため、それぞれ個別に両社から独立した第三者算定機関に株式交換比率の算定を依頼することとし、当社はみずほ証券株式会社を、SGホールディングス株式会社はSMBC日興証券株式会社を、それぞれ第三者算定機関として選定いたしました。

みずほ証券は、当社については、市場株価基準法、類似企業比較法、ディスカунテッド・キャッシュ・フロー法（以下「DCF法」といいます。）による分析を行い、佐川グローバルロジスティクス株式会社については、類似企業比較法、DCF法による分析を行い、株式交換比率を算定しました。

SMBC日興証券は、当社については、当社が東京証券取引所市場第1部に上場されており、市場株価が存在することから市場株価法（平成25年5月15日を算定基準日として、東京証券取引所市場第1部における当社の普通株式の算定基準日までの直近1ヶ月、3ヶ月、及び当社により「平成25年3月期決算短信」が公表された平成25年5月9日から算定基準日までの各々の期間における終値平均値を算定の基礎としています。）を、加えて将来の事業活動の状況を評価に反映させるため、DCF法を採用して算定を行いました。

佐川グローバルロジスティクス株式会社については、非上場会社であるものの、比較可能な上場類似企業が複数存在し、類似企業比較分析による株式価値の類推が可能であることから類似上場会社比較法を、加えて将来の事業活動の状況を評価に反映させるため、DCF法を採用して算定を行いました。

- (6) 株式交換の日(効力発生日)  
平成25年10月1日(予定)

(7) 株式交換完全親会社の概要

(1) 名称	株式会社ハマキョウレックス
(2) 所在地	静岡県浜松市南区寺脇町1701番地の1
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大須賀 秀徳
(4) 事業内容	物流センター事業
(5) 資本金	4,045百万円(平成25年6月30日現在)

(8) 株式交換完全子会社の概要

(1) 名称	佐川グローバルロジスティクス株式会社
(2) 所在地	東京都品川区勝島一丁目1番1号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石川 秀範
(4) 事業内容	国内ロジスティクス事業
(5) 資本金	1,500百万円(平成25年5月1日現在)

(9) 資本・業務提携の内容

本株式交換により、当社は、佐川グローバルロジスティクス株式会社の発行済株式の全部を取得することとなります。また、SGホールディングス株式会社は、当社の普通株式を2,090,000株を新たに取得することとなり、当該株式にかかる議決権の当社の総議決権に対する割合(以下「議決権割合」といいます。)は20.0%となります。その結果、佐川グローバルロジスティクス株式会社は当社の完全子会社となり、当社はSGホールディングス株式会社の持分法適用会社となります。本資本・業務提携契約において、当社およびSGホールディングス株式会社は、両社が企業としての独立性を確保しつつ両者間の良好な取引関係を維持することを目的とすること及び本資本・業務提携契約締結日以後、SGホールディングス株式会社が保有する当社株式にかかる議決権割合について20.0%を維持することを、両者間で確認しております。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和策や経済政策を背景に円高・株高が進み、景況感は改善傾向が見られました。しかし、新興国をはじめとする海外経済の不確実性は大きく、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、個人消費は底堅い動きを見せているものの、原油や輸入原材料の価格上昇等、引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益222億45百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益13億29百万円(同17.5%減)、経常利益13億69百万円(同17.8%減)、四半期純利益7億21百万円(同12.0%減)となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

物流センター事業

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、105億46百万円(前年同期比0.4%増)、営業利益は、9億71百万円(同25.5%減)となりました。

増収の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度までに受託したセンターが順次業績に寄与ことによるものであります。また、減益の主な要因につきましては、前連結会計年度ま

でに受託したセンターにより増加したものの、既存荷主様の一部契約内容の変更及び物量減少等により前年に比べ減少しております。

新規受託の概況につきましては、4社の物流を新たに受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した5社を含めた9社のうち8社稼働しております。残りの1社につきましては、平成25年8月以降の稼働を目指し準備を進めてまいります。

物流センターの総数は、新規受託による増加と既存荷主の減少により72センター（前連結会計年度末比4センター減）となりました。

引き続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

#### 貨物自動車運送事業

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、116億98百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は、3億57百万円（同16.9%増）となりました。

営業収益につきましては、依然として家電関連を中心とした物量の減少はあるものの、近物レックス㈱においては、物量の増加及び新規顧客の獲得が進んだことにより増加しております。

営業利益につきましては、近物レックス㈱での営業収益増加と、日々管理による経費の抑制により増加しております。

今後の取組みにつきましては、新規顧客の獲得強化及び既存顧客への営業強化を継続し、収益確保に努めてまいります。また、全車輛へのドライブレコーダーの導入を進め、輸送品質の向上を図ってまいります。

その他の取組みといたしましては、現在、当企業グループ内で、一部施設の共同利用を進めております。これにより、更なる採算性の向上を図ってまいります。

#### (2) 財政状態の分析

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比8億48百万円増加し877億69百万円となりました。これは主に、流動資産が75百万円の減少と、有形固定資産等の増加により、固定資産が9億24百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比2億43百万円増加し、559億47百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億41百万円、未払法人税等が6億59百万円それぞれ減少し、その他流動負債が8億83百万円、その他固定負債が4億72百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比6億5百万円増加し、318億21百万円となりました。これは主に、四半期純利益7億21百万円の計上と剰余金の配当による減少1億67百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の31.0%から31.3%へと増加しております。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当企業グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,356,000	8,356,000	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は100株でありま す。
計	8,356,000	8,356,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		8,356,000		4,045		3,951

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,348,100	83,481	
単元未満株式	普通株式 5,100		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,356,000		
総株主の議決権		83,481	

(注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式12株が含まれております。

2. 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 ハマキョウレックス	静岡県浜松市南区 寺脇町1701-1	2,800		2,800	0.03
計		2,800		2,800	0.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,080	4,890
受取手形及び売掛金	3 11,752	3 11,653
商品	2	2
貯蔵品	123	112
その他	1,795	2,025
貸倒引当金	29	34
流動資産合計	18,724	18,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,094	22,772
土地	34,416	34,665
その他(純額)	4,495	5,254
有形固定資産合計	62,005	62,692
無形固定資産	2,028	2,053
投資その他の資産	1 4,161	1 4,374
固定資産合計	68,195	69,120
資産合計	86,920	87,769
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 5,888	3 5,646
短期借入金	21,740	22,105
未払法人税等	1,279	619
賞与引当金	592	570
役員賞与引当金	46	16
その他	4,695	5,579
流動負債合計	34,242	34,536
固定負債		
長期借入金	11,449	10,895
退職給付引当金	4,939	4,960
役員退職慰労引当金	423	432
その他	4,649	5,122
固定負債合計	21,462	21,411
負債合計	55,704	55,947

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,045	4,045
資本剰余金	3,951	3,951
利益剰余金	18,853	19,407
自己株式	8	8
株主資本合計	26,841	27,395
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	84
その他の包括利益累計額合計	69	84
少数株主持分	4,305	4,341
純資産合計	31,215	31,821
負債純資産合計	86,920	87,769

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	22,051	22,245
営業原価	19,872	20,365
営業総利益	2,179	1,879
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	3	2
役員報酬	109	110
給料及び手当	134	129
賞与引当金繰入額	20	21
役員賞与引当金繰入額	12	14
退職給付費用	7	7
役員退職慰労引当金繰入額	16	16
その他	261	248
販売費及び一般管理費合計	566	549
営業利益	1,612	1,329
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	20	17
負ののれん償却額	50	50
助成金収入	34	5
雑収入	54	94
営業外収益合計	159	168
営業外費用		
支払利息	95	79
雑損失	11	48
営業外費用合計	107	128
経常利益	1,665	1,369
特別損失		
投資有価証券評価損	10	3
賃貸借契約解約損	-	13
特別損失合計	10	17
税金等調整前四半期純利益	1,655	1,352
法人税、住民税及び事業税	734	611
法人税等調整額	0	76
法人税等合計	735	534
少数株主損益調整前四半期純利益	920	817
少数株主利益	100	96
四半期純利益	819	721
少数株主利益	100	96
少数株主損益調整前四半期純利益	920	817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	12
その他の包括利益合計	16	12
四半期包括利益	904	830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	808	736
少数株主に係る四半期包括利益	95	94

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
投資その他の資産	49百万円	56百万円

2 受取手形割引高及び受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形割引高	854百万円	696百万円
受取手形裏書譲渡高	1 "	0 "

3 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	11百万円	93百万円
支払手形	308 "	243 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	735百万円	802百万円
のれんの償却額	8百万円	4百万円
負ののれんの償却額	50百万円	50百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月19日 取締役会	普通株式	158	19	平成24年3月31日	平成24年6月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月18日 取締役会	普通株式	167	20	平成25年3月31日	平成25年6月19日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	10,506	11,545	22,051		22,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	127	340	468	468	
計	10,633	11,885	22,519	468	22,051
セグメント利益	1,304	306	1,610	2	1,612

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、当該変更による各セグメント利益に与える影響は軽微であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	10,546	11,698	22,245		22,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	123	303	427	427	
計	10,670	12,002	22,672	427	22,245
セグメント利益	971	357	1,329	0	1,329

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

重要な企業結合等はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	98円15銭	86円38銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	819	721
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	819	721
普通株式の期中平均株式数(株)	8,353,188	8,353,180

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年5月18日開催の取締役会において、平成25年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 167百万円  
1株当たりの金額 20円  
支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年6月19日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月14日

株式会社ハマキョウレックス

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 谷 津 良 明

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 努

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハマキョウレックスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハマキョウレックス及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。